

■ 「立川市公共下水道上水汚水第1幹線圧送管路改築工事」

標記の説明会における質疑応答において、皆さまからご質問やご意見をいただきました。いただいたご質問やご意見について、市の考え方を次のとおりまとめました。今後の事業を進める上で参考とさせていただきます。また、貴重なご意見等ありがとうございました。

説明会の日時 令和7年2月28日（金）19時から  
令和7年3月1日（土）10時から

◆ 場所 こんぴら橋会館 2階 集会室

◆ 参加者 5名（28日）、7名（1日）

主な意見と市の考え方

番号	意見等の概要	市の考え方
1	▶ 通常の工事よりも工事期間が長いとのことですが、通常の工事との違いを教えてください。	▶ 都道と、市道および市道に並走する西武鉄道とが交差する箇所での工事で、地中には、他企業の埋設管路が多数埋められているなど、施工条件が厳しい工事です。地盤を掘る作業を行う際には、地中の埋設管路を壊さない目的で、人力作業とする必要もあり、通常の工事よりも時間がかかります。
2	▶ 今回の工事箇所以外の市内全域にある他の管路は大丈夫ですか。	▶ 定期的に、カメラ等を用いた点検・調査を行い、必要な対応をとっています。
3	▶ ライナープレートや覆工板といったものは、地震や雨等が降っても、安全面に問題はありますか。	▶ 安全面に配慮した検討を行い、工事を進めていきます。
4	▶ 工事の時間帯は夜間工事が多いのですか。昼間工事だと渋滞が予想され、バス等も時間通りに来ないと心配しています。	▶ 今回の工事箇所が重要な路線であると認識しています。交通への影響を考慮して、都道内の工事は、夜間工事とする予定です。
5	▶ 夜間工事の騒音や振動の対策はどのようなことをするのですか。	▶ 工事期間中は、工事に伴う騒音や振動が発生します。その中で、低騒音型の機械を用いたり、エンジンの向きを民家とは逆に向ける等の細かい対策を行う予定です。

6	<p>➤ 下水が流れている状態で、既存のマンホールを新しいマンホールに作りかえることはできるのですか。</p>	<p>➤ 工事対象の管路は、圧送方式により下水を流す管路です。圧送方式の管路は、ポンプ施設に流れてきた下水の量が一定量になった時に、ポンプの力で下水が送り出されています。つまり下水が流れていない時間帯が生じます。工事は、この下水が流れない時間帯の中で行います。</p>
7	<p>➤ 工事期間は、いつもどおりに下水道管を使用出来ますか。</p>	<p>➤ 排水制限は考えていません。</p>
8	<p>➤ 今回の工事で、都道の通行止めをおこなうのですか。</p>	<p>➤ 都道の通行止めは考えていません。</p>
9	<p>➤ 硫化水素が漏れ出て人体などに影響が生じたりしませんか。</p>	<p>➤ 汚水管は密閉されているので外へ漏れ出すことはほとんどないと考えています。硫化水素の微量な漏れがあったとしても大気中の空気と希釈されるので、健康への影響はほぼないと考えています。</p>
10	<p>➤ 施工箇所の交差点から一つ北側にある細い道から、都道の立川方面へ出る車両について、車両の誘導に注意してほしい。</p>	<p>➤ 十分に注意します。</p>